



# 環境に優しく交通弱者の居ない街～桃源郷～を目指して

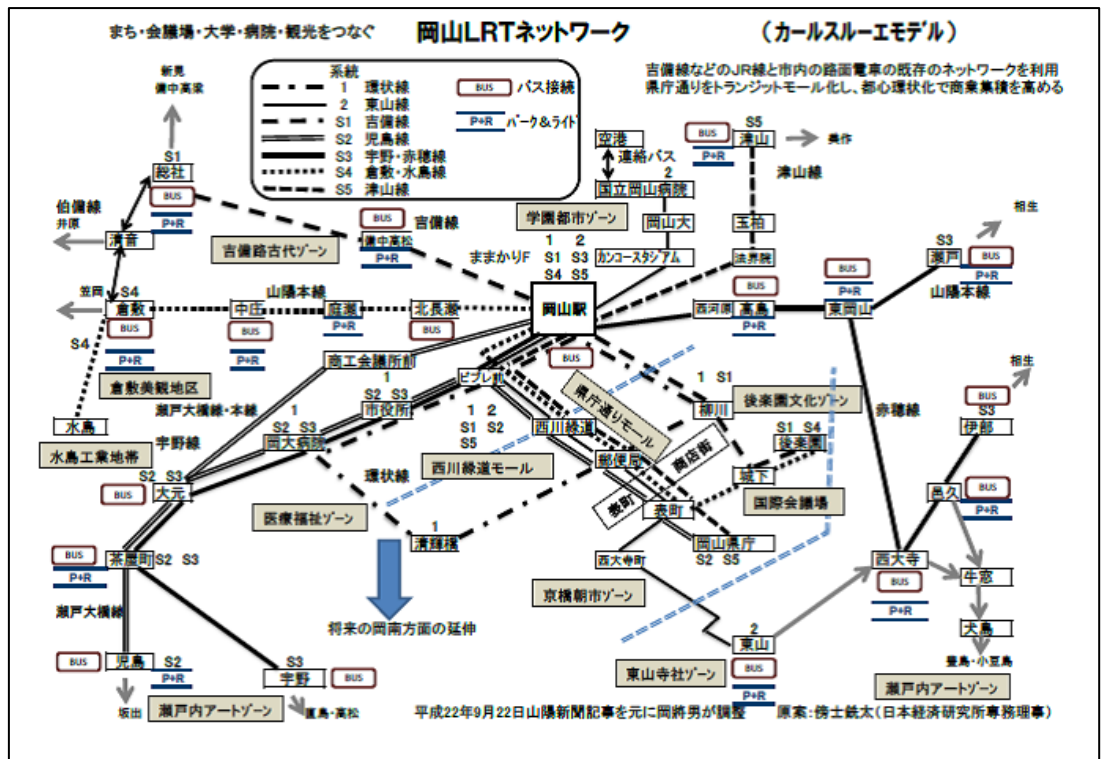
■近年増加し続ける訪日外国人観光客。岡山の街も例外ではない。スペインから訪れたガルシア夫妻。外国人にも人気の高い後樂園を訪れた後は、城下電停よりLRTに乗り、吉備路散策に出掛けるらしい。日本文化ブームの影響もあり、日本の昔話「桃太郎」の話がお気に入りとの事。訪日した際は是非、桃太郎伝説ゆかりの地めぐりを巡礼するのが夢だったらしい。ガルシア夫妻は笑顔で語っていた。「岡山の街は最高だ！旅行中は毎日晴れていたし、公共交通機関がわかり易くて、どこへでも行きやすい。ノンストレスね」と。

多言語通訳システムの普及により言葉のストレスは軽減されるが、異国で公共交通機関を乗りこなす事は容易ではない。特に乗り換えが多ければ多いほどストレスになる。その点、LRTとJR線の直通運転を行っているこの街は、観光客にも優しい。

■晴れの国岡山とは長年言われているが、ここ近年、澄んだ空気の街岡山とも言われている。おそらく他都市に比べて、街への自家用車の乗り入れが少ない事が理由であろう。

公共交通機関を電気・ガス・水道・通信と同じくライフラインだと考え、積極的に整備を行った。その結果、日常生活においてマイカー中心だった移動手段が、公共交通機関を極力利用した方が、経済的な問題だけでなく、生活も豊かになると認識され始めたのである。

またLRTの芝生軌道化やLRTや天然ガスや電気走るバスを積極的に導入し、環境問題に真



NPO 法人公共の交通ラダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



撃に向き合い責任を果たしている。400年以上の歴史ある商店街中心にある百貨店に隣接したバスステーション。ここは頻繁に多くのバスが発着するにも関わらず、今日も空を見上げると高く青い。

■今後益々深刻化していく高齢化社会。これだけ聞くとお先真っ暗な問題に思える。しかし高齢化とは長生きできるという事でもあるので、決して暗い話ではない。

昨年末に厚生労働省から都道府県別の平均寿命で、岡山県の女性が87.67歳と、全国2位になったと発表がありました。これは非常に喜ばしい事です。51才の宇喜多さん。

実母が中山下にある総合病院に入院し、義母が面倒をかけたくないと下石井にあるヘルスケア施設に入居している。そして自分自身も西川緑道公園付近の鍼灸院に通院と医療・福祉施設の行き来に明けて暮れている。しかしそんな毎日でも彼は苦痛にはならないという。

彼は言った。「だってLRTで、ぐるっと回ればいいだけじゃないですか」

■街と田園のかたちを明確にする「庭園都市岡山」。その言葉とおり市域には市街地だけでなく、中山間地域、離島まである。しかしどのようなロケーションに住んでいても、岡山市で暮らしていると交通機関に困る事はない。例え市境近くに住んでいたとしても。

市内中心部から区役所までは基幹バスを利用。区役所でコミュニティーバス（支線バス）に乗り換えて公民館まで。自宅は更に山間部の為、公民館からはデマンド交通を利用する。事前予約をしておけばバス並みの低運賃でタクシーのように利用できるのである。

ライフラインとは、人々皆に同条件相当のサービスを提供し、日常生活が送れるようにする事が使命である。環境に優しく交通弱者の居ない街～桃源郷～を目指して。

2018年初春。まだまだ今は旅の途中。 安藤 亮

